

一條x渋谷 対談動画③

一條：

はい、皆さんこんにちは。

今日も渋谷先生にお話をお伺いしていきたいと思います。

先生、前回までの話では、そもそも結果が出てる人と結果が出せない人の差は何なのかって話から始まってんですけど、どうも見てると自分たちの持っているセルフイメージの内容と、後は自分の適正と言いますか。自分を知ってるか知らないか。この2つが何か大きな要因になってそうだなと。

渋谷：

物凄く重要ですね、やっぱりその2つは。

ほんと僕1万人見てて、この2つがクリアしたら、もうほぼ全員ブレイクできると思いますけどね。

一條：

なるほどね。だから、前回の対談でご紹介いただいたようなブレイクした人っていうのは実際にいらっしゃるわけですけども、自分の土俵を見つけて、玉子が先か鶏が先かっていう話がありますけれども、自分の土俵を見つけたからセルフイメージが上がったのか、セルフイメージが上がったから自分の土俵が見つかったのかはわからないですけども、人によって違うけれども、ブレイクしちゃうと。

渋谷：

そうですそうです。

ブレイクした人ですら、初日にも言いましたけれど、落ちることはあるよっていうことですね。セルフイメージがちょっと下がると。

ただ、セルフイメージ下がっても、すぐパツと彼らは上がれるんで、そうじゃなくて結果出てないと、セルフイメージ下がって、下がったまんまになっちゃってるっていう、ここですね。

あとやっぱり自分を知らないセルフイメージが上がって、上げるために、人のセルフイメージの上げ方を使って、苦しい思いをするっていう、そういうケースありますね。

一條：

なるほどなるほど。

ですので、そういうのを踏まえた上で、今日のお話の中では、どうやったらあなたの才能が発動するのか。中からドンドンドン湧き上がってくるというのか。才能というか魅力というか、そういうのを出して行く方法をね、お話いただけたらと思うんですけども、よろしくお願い致します。

渋谷：

はい、よろしく申し上げます。

一條：

まあ、まずなんですけど、自分を知るっていうことが、まあ簡単に始める第一歩だとは思うんですよね。「セルフイメージを上げるって言われても…」っていう方もいらっしゃると思うので。

で、そのための具体的な方法っていうのを、書き出してみるっていうのが、前回の動画の中で出てきたと思うんですよね。

何かその、自分を知る、こういうことをしたら自分がわかるよっていう方法をお伺いしたいと思いつつ、なんて言うんですかね、1つ前提として確認しておきたいのが、自分を知るっていうことは、何を知ることなのかという話なんですけど、自分を知るというのは自分の適性を知ることっていいんですか。

渋谷：

いろんな物がありますね。自分の才能はどこにあるのか。そして、そもそも根源的に言うと、自分とは何者なのか？みたいな、僕はよくスピリットとかって言うんですけど、自分の魂から出てくる、人生の目的は一体何なんだ？みたいな、そういうところっていうのも、自分を知るですよね。

で、今言ったように自分の強みはどこなのか？もそうですし、あとは自分はどういう時にモチベーションが上がるのか、どうしたらセルフイメージがあがるのか、全部これ実は自分を知るなんですよ、

だから自分の武器はどこにあるかだけではないと思います。

だから全てです。価値観。価値観っていうのは無限にあるので、っていうのは

我々はつい価値観を押し付けてきちゃうんですよね。

小さい頃は親の価値観に縛られて生きているわけですよ。だからその通りに生きないと、何か怒られてしまうから、結局その親の価値観に合わないことは罪悪感を覚えちゃうから、結局パワーが出ないんですよ。

今度は大人になってくると、セミナーとかやるとね、会社員であれば上司の価値観、会社の価値観を押し付けられます。セミナーであればセミナー講師の価値観、憧れのベストセラー作家さんの価値観、これも素晴らしい価値観なんですけど、それはあくまでもその作家さんの価値観であって、自分の価値観はまた別にあるんです。その自分の1番パワーと才能が発動する価値観はどうか。そこがわかれば、あとは当然素晴らしい方の価値観っていうのをヒントにさせてもらうっていうのは、すごく大事なんですよ。だから、そういうのも、学ぶのはすごくいいんですが、自分の価値観じゃないところで学んじやうと、もうすでに今日は〇〇先生なので、影響受けて、「こうかな？やっぱこっちかな？」みたいになって、わけわからなくなっちゃうんですよ。

そうするとその価値観に基づいたモチベーションアップは、苦しくなりますよね。

一條：

なるほどね。例えばモチベーションアップって一言で言うけれども、いろんなノウハウもあるけれども、そのどれを使うかっていう前に、自分はどのようなタイプなのか、どういうのがいいか。例えばそれって何かありますか。

渋谷：

例えばモチベーションでわかりやすく言うと、タイプっていうものと、タイミングっていうのがあるんですよね。要するに、自分のモチベーションが上がるものっていうものに、自分の個性から来る、価値観に基づくものっていうのはあるんですけど、実はこの価値観ってタイミングにもよるんですよ。

(5:00~)

例えば、1番わかりやすいので言えば、リッツカールトンホテルで、ラウンジでお茶をするとモチベーションが上がります。これはこれでいいことだと思うんですよ。

あるいは「都心の高級マンションに住むぞ！よーしそのために頑張るぞ！」。

これもモチベーションじゃないですか。

でも、それが本当に自分のモチベーション、自分の価値観に基づいたモチベーションか別問題なんですよ。

「いいか、億万長者になるためには、そういうところに住め！」みたいな、価値観に基づいて言われたとしますね。「ああ、いいな。確かにリッツカールトンでお茶するのもいいな。」と思う。

でも、本当の自分の価値観は、もしかしたら北海道の別海とかね。田舎で牛を見ながらのんびりすることの方がモチベーションあがるかもしれない。才能が活きてくることもありますよね。

まずそういう意味で、いろいろな価値観があるってことを知ってほしいんですよ。で、いろんな価値観の中で本当の自分のスイッチを押せるのはどこかな？っていうのを常に意識してもらおうといいですね。

一條：

なるほどね。自分の中にいろんな価値観があるわけじゃなくて、いろんな価値観あるよねと、先に仕入れといて...

渋谷：

仕入れといて、自分はどれが本当にスイッチなのか。それは、無意識にその価値観に引っ張られて「そんな気がしてきた。」ではなくって、例えば喫茶店と言うとスターバックスなのかドトールなのか、リッツカールトンの高級ラウンジなのかは、1回ちょっとリセットして、1回やってみて、どれが1番本当にパワーが出るかな？とか、アイディアが出やすいかな？とか、どれが1番ワクワクするかなっていうのを冷静にやってるんですよ。

同じように、じゃあ、ハワイに行くのと、沖縄行くのと、バリ行くのと、北海道行くのとと、いろいろやってみた方がいいですよ。どれがいいかっていうよりは、どれもいいんだなと。どれも良い中で、自分はどれがモチベーション上がるかな。で、さっきもう1個タイミングって話しましたよね。タイミングもあるんですよ。

一條：

タイミング。

渋谷：

前は、去年は、牛を見てるのが1番ボーッとよかったのに、今年は海な気がする。それでいいんです、全然。

あるいは、今年は六本木ヒルズな気がするとか、だから何か価値観コロコロ変わると、私は駄目かなとか思わなくていいんです。それは当たり前なんですよ。

モチベーションっていうのは、情熱っていうのは、やっぱりその瞬間その瞬間起こりうる物なので、1年後とか、下手したら1分後に変わってもいいんですよ。気が変わったら。

大切なのは、タイミングを信頼するってことです。

だから、今このタイミングだったら、この人と会うとモチベーションが上がる。だけど、次はタイミングでは別のことを考えててもいいんですよ。

都心のところでとか、5つ星のシェフで美味しい物を食べるでもいいんです。あるいはこういう本を読んだらモチベーション上がるとか、これが時間とともに変わって構わないんで、タイミングを信頼して、常に今この瞬間タイミングで、自分に相応しい、このモチベーションの引き出しがあったらどれがいいかを、最初から意識しておくことが大事ですね。

一條：

なるほどね。そうですね。

実際にそのタイミングっていうのは、本当に自分の中でポンと変わっちゃうもんだったりすると思うんですよ。で、あれば、タイミングはコントロールできないとしたら、それまでの引き出しをね、自分が何に価値を感じるのか、引き出しを増やすにはどうしたらいいのか。

渋谷：

増やすためには、やっぱりいろいろ見ておく、体験することが大事ですよ。

だからそれこそモチベーション系のセミナー行かれてるんだったら、そういう先生方はどうやってモチベーションをコントロールしているのか。それがもう全てではないので、それも1つの引き出しですよ。

あるいは自分自身が、例えば映画を見るのが好きであれば、いろんな映画を見ているわけですよ。その中で、この映画を見ると涙が、何回見ても涙流れるなとか、この音楽聞くとすごくパワフルになるなどかってあるはずなんですよ。それ全部片っ端からメモっといてみるとかですね。そうするとどんどん引き出し増えるんですよ。ああ、この漫画めっちゃめっちゃいいなとか、そういうのも書きだすんですよ。あるいはたまたま雑誌で見た一言。「この一言いいセリフだなあ。」って思ったら、それもう携帯に待受しててもいいわけじゃないですか。どんどんそうやって、引き出しを増やしていくんです。

で、実際にえー、別にオペラとか興味ないけど、なんか妻に誘われたから行ってみると。めっちゃ感動したって思ったら、オペラって入ってくるわけですよ。

やっぱり片っ端から入れとくっていうのは大事ですね。

そのためには、そういう意味では旅するのもいいですよ。いろんな所旅行してみるっていう。そういう意味では六本木ヒルズ行ってみる日もあれば、沖縄行ってみてもいいわけですよ。それも何か、その価値観に合わせるんじゃなくて、行ってみて自分の心はどう動いたかを、常に観察するんですよ。

その時に、例えばメルマガ書いたら、1番よかったのはどこなんだろう？とか、どんな時に1番仕事をやりたくなったかとか、どんな時に自分は無敵な気がしたかと。

例えばスーパーマリオってね、ゲームがありますけど、古くから。あれって、スターっていう星を取ると無敵になるんですよ。でも、あなたの無敵は常に星じゃないってことなんですよ。星は、あれ15秒ぐらいなんですよ、短いんですよ。でも、あなたのモチベーション無敵ゾーンっていうのはもっと長いんですよ。10年とか、下手したら80年かもしれないですね。しかもその間は星を取ると、切り替えるって意味なんですよ。昨日の星っていうのは酒だったと。今の星は、彼女作ることかもしれない。そして今の星は、美味しいフランス料理を食べることかもしれない。今の星は、大自然の中でボーッとすることかもしれない。今の星は、あの映画を見て気合入れることかもしれない。今の星は、ちょっとラブロマンスな映画かもしれない。その時の自分の心のありようによって変わっちゃうんですよ。

(10:00~)

だから、「おーっしゃー！」みたいなのがいい時があれば、逆になんか、もうちょっと引き気味の方が合う時もあるんですよ。その心のタイミングの有り様を信頼するってことですね。

だから先程仰られたように、タイミングをコントロールはしないほうが僕はいいと思いますね。コントロールした瞬間にモチベーションは下がるんですよ、やっぱり。

一條：

なるほどね。まあ、そうですね。

もうなんか滅菌消毒済みのモチベーションみたいになっちゃいますよね。

渋谷：

そう、なっちゃうんですよ。

それだと、今までのモチベーションの延長線上よりもやっぱり下がっちゃうんですよ、モチベーションが。今までに無いものを取り込んで、これも私が取り込めるだけの度量があると思ったら、ぐわって上がるんですよ。スターが大きくなっちゃうんですよ。スーパーマリオで言えば。そういうのがすごく大事ですね。

一條：

そういうのがセルフイメージとかを上げることに繋がるんですか。

渋谷：

繋がります、もちろんもちろん。

そのためにブレーキを外すってことも大事ですね。

要するに自分の中のモチベーションっていうのを、前回もチラっと言ったんですけど、ブロックかけちゃう事が多いんですよ。

本当はこうやるとモチベーションがあがるとか、っていうもの。例えば倫理とかモラルとか、罪悪感とかがあるとできないんですよ。

例えば、もう一生懸命仕事をして、僕もそういうタイプなんですけど、どっちかっていうと、社員もいて、経営をしていて、自分もガンガン仕事してると、何か休むことがいけないような気がしちゃうみたいなね。

そうすると、例えばバカンス、バカンスを取るというモチベーションになるとするじゃないですか。ブレーキかかっちゃうじゃないですか。何かそれよりもガンガン仕事して、部下を食わせてる俺の方がかっこいいみたいな、何か騙し騙しになっちゃうかもしれないですよ。

だからそれと同じで、罪悪感持っちゃうと、本当の自分のモチベーションのパワーのスポットがどこかわからなくなっちゃうんですね。

酒飲むのが、「飲み過ぎはいけないぞ。」と。もちろんいけないですよ、身体によくないかもしれないけれど、でも身体によくないと思っちゃうと、そういうモチベーションがストップになっちゃうんです。永遠にできないんですよ。

彼女3人作るぞ、とかもそう。そういうふうに倫理的にいけないんじゃないかとか、こうしなさいって親から言われてるものとか、無意識にブロックかかることあるんですよ。

一條：

そうですね。多いですね。

渋谷：

多いんですよ。

今の私が、主婦にすぎない私が、リッツカールトンで1500円のコーヒー飲むなんていけないことなんじゃないかとか、これ言うとモチベーションがどんどんストップしちゃうんですよ。

だから1番大事なのはモチベーションの引き出しを増やすことと、どんなモチベーションでもありだっと思う価値観を持てるかどうかですよ。あなたは自由なんだからってことなんですよ。

モチベーション、究極のモチベーションはセルフイメージを上げるのと、自由であることを実感することなんですよ。

自由がなければいほど、モチベーション下がるんですよ。

いかに自分が駄目な人間か、セルフイメージが下がってるのは自由がないんで

すよ。あなたはこういう人間ですと。例えばベストセラー作家になるなんていうのはありえませんか。あなたがリッツカールトンに行くなんてありえませんか。どんどん自由がなくなるんですよ。

だから結局セルフイメージも下がってる状態っていうのは、モチベーションも下がるんですよ。

だから逆に言うと、自由、あなたあれやってもいいよ。明日日本武道館でセミナーやったっていいんだよ。明日本出したっていいんだよ。1ヶ月、なんだったらバリで住んだっていいんだよって。何やりたいの？っていうと1番モチベーションあがりませんか？

そういう状態を普段の心のありようとして、下地つくっておくと、何でもありだーで、自分ならではのモチベーション辞典が作れますよね。

一條：
モチベーション辞典ね。

渋谷：
自分ならではのね。だからもう人の倫理とか関係ないんですよ。

一條：
そうですね。

それ、実際にはモチベーションの話だけでなく、モチベーション以外でも一緒なんですよ。

渋谷：
同じです。

一條：
ならではの、何々辞典ができれば、辞書ができれば、いいんですよ。

渋谷：
そうそうそう。その人ならではのスピリットは何なのか。人生のゴールは何なのか。人生の目標は何なのか。人の目標に合わせる必要ないんですよ。

だから年収は高ければ高いほど偉いとか、そんなのないので、自分が本当に輝いて、好きで、自分が自分らしく輝いて、ブレイクしていくんだったら、年収

はいくらっていうのが必要だったら年収を設定すればいいですよ。その時にセルフイメージが今度邪魔になるので、それは排除しましよってだけなんですよね。

一條：
なるほどね。

実際にその、今の話でね、実際に自分ならではの辞書、辞典があったら、すごい強いじゃないですか。

渋谷：
強いですね。

一條：
一方で、倫理的な、例えばそれこそ生まれた時から、親ですよ。両親だったりだとか、いろんな家庭があると思うんですけど、近くにいる育ててくれた人の価値観ですよって、すごく影響受けますよね。

渋谷：
そうですね。

一條：
で、学校行けば先生の影響を受けたりするでしょ。意識してないじゃないですか。

渋谷：
はい、してないですね。

一條：
そこをね、外していかないと辞書ってできないですよ。

渋谷：
そうですね、そうですそうです。

一條：
その外し方っていうのはあるんですか。

渋谷：
1番簡単なのは、やっぱり波乱万丈な人を見るっていうのがいいですよ。

要するに、普通じゃない人っているじゃないですか。タガが外れてる人って、僕は、よく言うのは、別にそれリアリティなくてもいいんですよ。タガ外れてる。イメージできればいいんですよ。

だから漫画のキャラクターとかでもいいんですよ。映画のキャラクターとか。そうするとタガ外れてるキャラ、山程いるじゃないですか。もう我々が憧れるような、でも悪のカリスマだったりとか、いますよね。ああいうのもいいんですよ。イメージが湧けばいいんで、それで、現代社会だから殺しちゃったりとかはできないんでね、もちろん最低限の犯罪はちょっとやめといて、犯罪ならないことの中でタガ外れてる状態。もう批判されようが「ウォー！！」みたいな感じでやってる人いるじゃないですか。

だからホリエモンとかでもいいわけですよ。実在の人物だったら。「うわ、もう自分じゃ真似出来ないけども、タガ外れててすごいやってるな。」そういう人を普段から見ると麻痺しますよね。「ああ、ああいうのもいいんだ。」みたいな。そんなんだったらお金もかかんないし、普段からやれますよね。インターネットで検索かけて、「うわ、この人すごいな。」と思う人いっぱいいるじゃないですか。Youtubeで検索してもいいわけですよ。僕でもいいわけですよ。いろんな人をモデルケースとして見といて、「ああ、なんでもありなんだ。」っていう前提にしておくことが大事ですね。そうするとタガが外れやすくなりますんで。

一條：

じゃあ、自分ならではの、タガを外したモチベーション辞典とか、そういうのを作る前に、タガが外れた人間辞典っていうのを、あの人が外れてるみたいな、そういうのあるといいかなと思うんですよ。

渋谷：

いいですね、いいですね。

で、辞典はさっきも言いましたけど、タイミングでどんどん切り替えたっていいんですよ。だから辞典っていうと10年間、1回作ったら変えないんじゃないかと、もうコロコロ変えたくなるんですよ。

あの時のタガ外れてるって、嬉しいのはこういうのだったけど、今違う、飽きた、これやってみたら。ってことは、どんどん変えていっていいんですよ。それ成長って言いますからね。

一條：
なるほどね。

渋谷：
それ飽きっぽい、駄目な人間だって思うのか、成長したって思うかの違いですからね、それは。

一條：
実際にね、一連の流れで、自分の適性を知るとか、セルフイメージの話を一っとしてるわけですけども、やっぱりね、今すぐできるというかね、やってみて成果を出してもらえれば、こうやってね話してる甲斐があるじゃないですか。どうなんですかね、1番1番、第一歩として、もう絶対これ手につけたほうがいいよってというのはなんなんですか。

渋谷：
そうですね、手をつけたほうがいいのは、ちょっと質問と異なっちゃうんですけど、2つなんですよ。

やっぱりもう、ここまで言ってきましたけど、今のやっぱりモチベーション辞典は作った方がいいと思うんですよ。もしモチベーションで引っかかっちゃってる方は。

やっぱりここで、タガ外れてる人みたりとか、いろいろなもの見て「何でもありだ。」と、そういう意味では質問はこうですね。何でもありだとしたら、誰、お父さんお母さんも怒りません。倫理モラルもありません。パートナーも部下も上司も一切怒りません。恋人も怒りません。そういう状態、むしろ何を言ってもみんなニコニコして「おめでとう！」って祝福してるとしたら、何でも要するにやっていいんですよ。

で、お金の制限もありません。年齢の制限もありません。物理的な制限もない。何でもできる。だからお金の制限なんていらわないわ。もう手元に1千億入ってもいいです。年齢がもし心配だったら、20歳に戻ってもいいです。そしたら何やりたいですか？どんなことで気分転換したいですか？どういうことをしたらモチベーションあがりますか？っていうのを、片っ端から、それを書き出してみてほしいですね。モチベーションであれば。

で、本当に過去、映画を見て、ちょっとでもウォー！ってテンション上がった

りとか、涙したから、とか書く場所は書いとく。本もそう、ドラマもそうですね。

で、それが少ないんだったら、さっき言ったように旅行行ってみたりとか、大都会行ったり、逆にすごい田舎行ったり、極端な物見とくといいですね。両極端、常夏みたり、スキーのゲレンデを見たりとか、そういうふうに正反対の時。大都会みて、大きな田舎を見とく。もう全部そういう感じですよ。

一條：

なるほどね。まあ実際に、「ああ旅行ですか。」っていう人もいらっしやると思うんですけど、1番簡単に作れるのは、それこそネットで検索してYoutube見るとか。

渋谷：

そうそうそう、Youtubeでハワイ検索、行ってみたいところを、ネットサーフィンすればいいですよ。

で、それこそ、なんだろうな、ちょっと余裕があれば、ハワイに行きたいのなら、ハワイネットサーフィンしながら、BGMでハワイアの音楽聞いて、ハワイの香りのアロマとか嗅げばいいですよ。ココナッツな香りとか。

そうやってイメージを膨らませてもいいですよ。最初は。

まあ、本当は実感した方がいいですけどね。現地行った方がいいですけど、なかなか難しいのであれば、なんちゃってでも全然出来ますからね。

一條：

逆に言うと、そういう意識を持ってなかったら、引き出しを増やそうと思って行ってなかったら、ひよっとしたらどこに行っても意味がないかもしれないですよ。

渋谷：

そうそうそう。そうです。

だからセルフイメージが低くて、「自分には無理だ。」「そのやり方も駄目だ。」「このやり方も駄目だ。」とか、時間ないしとかなっちゃったら、もうほぼ不可能になっちゃいますからね。

一條：

そうですね。なるほどね。

そうやってモチベーション辞典をまず作ってみよう。

渋谷：

そうですね。で、作ったら、もう繰り返すってことですね。

だからもう、モチベーションが下がるまで徹底的に繰り返すみたいな、継続力もやっぱり大事ですからね。1回目でも言いましたけど、まずやる人が少ないですと。でもやり続ける人も少ないんですよって話です。

だから、例えば今回のこの3本の教材っていうのも、これ見てたらすごい気合入るじゃないですか。だけど、100回動画を見るっていうのは、ちょっと気合を入れればできることなので、毎回毎回テンション上がるんで。

一條：

なるほどね。必要だったらね、気に入ったところのフレーズだけ自分で文章にしておいてもいいですね。

渋谷：

そうそうそう、いいですね。

一條：

で、聞きながら、今だったらiPhoneで動画を再生しながら聞いて、電車乗ったりしてもいいわけですよ。そういうのだったら簡単ですね。

そういう意味で、モチベーションがちょっとネックになってるなっていう方は、まずそうやって自由だよと。私は自由なんだと。何やっても許される存在なんだっていう視点から常に、今言ってる事を始めてもいいですね。

もう1つは、やっぱり才能を、具体的な才能を、もうちょっと見たい人は、前回も言いましたけど、ネガティブ経験とポジティブ経験、そして好きなこと、得意なこと、で、最後はイメージする同業者っていると思いますよね。

同業者と戦ったら勝てそうかどうかっていうのも、書き出すっていうのは、是非やって欲しいですね。

一條：

なるほどね。結局、誰かが何か「あなたこれでしょ。」って言ってくれるわけじゃないので、ちゃんと自分でコツコツやらないといけないことは、間違いないわけですよ。

渋谷：

でも、そこで大事なものはブロックかかっちゃう人いるんですよ。書き出せません、才能がないので書けませんっていう人がいる。才能がないんじゃないです。それは、先ほどの辞典の方のワークをやってください。

なぜかって言うと、要するに、これ何でもありだっという発想になってないから出て来ないんですよ。この程度大したことがないとか、これは許されるべき問題ではない、私の中でまず怒りになってとかなると、そういうの書き出したくないですよ。

だから、1回何でもあり、「ああ、あの時ああやってひどいことしちゃったな。まあ、それはそれで僕もごめんね。」「だけど、今の私はこれがあるから、こうやって寛容になれていけるきっかけになってるから、これはこれでありだな。」みたいな。何でもありだっという自由な視点になっておく。その上で書き出さないと、たぶん書き出せないですね。

自分は駄目な人間だ、才能なんてあるわけがない、つまんない、世の中なんて、って思ったら何も書けなくなっちゃうんで、そういう場合は先にこっちをやってください。

モチベーションを上げる事で、ワクワクする、エネルギーを使っちゃうってことです。

一條：

まあ、そのタイプによって、どっちを先にするかは、決まってくる。まあ、それも適正ですよ。

渋谷：

それ適正ですね。ただ、もし後者の方やりたかったら、書き出せなかったら、出て来なかったら、もう1個の可能性やってください。そっちがたぶん、ブロックになってますからね。

一條：

なるほどね。

実際にそういうことやると、先に何をやるのか。もちろん、目標の達成とかいろいろあると思うんですが、それぞれに持ってらっしゃるじゃないですか。

例えばだけど、まあ自分がやってるお仕事、もしくはビジネスでこうなりたいとか、ひょっとしたら恋愛系でね、恋人を達成したいとか、いろいろあると思うんですよ。どうですかね？こういうことすると、例えばビジネスだったら、どうなんですか。例えばですけど。

渋谷：

1番はね、やっぱりブルーオーシャンな市場作れますからね。やっぱりオンリーワン性を出しやすいいんですよ。だから、前回は言いましたけど、マインドマップインストラクターっていう打ち出ししなくていいんですよ。

僕の場合は、マインドマップインストラクターなんていう打ち出し方一切しないですからね。でも**渋谷**文武で打ち出すんですよ。あるいは教育エンターテイメントっていうので打ち出したり、カリスマで、以前だったら打ち出ししたり、その一環として、マインドマップの、今度久しぶりにやるけど来る？って言ったらバツて来るわけじゃないですか。

だから、それと同じで、OEMができると、もう人の土俵で戦う必要がないんですよ。ブルーオーシャン市場作れちゃうんで。そういう意味では、前回のように、まず売上は上がりやすくなりますよね。で、集客もしやすいです。だって、自分のポイントわかってるわけですから。訴求点が。だからそういう意味での強みってありますよね。

で、それからやっぱり自分が、そういう意味でいうと、オンリーワン性が出てくるんで、輝くんですよ。

やっぱり一講師ですっていう風に行かないので、やっぱりしゃべる時は今の僕みたいに、内から情熱が湧き出てくるしゃべり方になるんですよ。

もうくどいように言いますが、僕は性格的におとなしい正確なんです。どっちかって言うと。こうやって、パワフルにしゃべるわけじゃないんですよ。だけど自分のオンリーワンが見つかって、才能がわかると、もうスイッチ入るんですよ。スイッチ入るから、なんかこう、しゃべっているとパワーが、だからちょっと怪しい言い方して悪いんですけど、カットになるかな、わかんないんですけど、スイッチ入ると何か振ってくるんですよ。降りてくるんです、神が、みた

いな。

何か、だからロックの神が降りてくるみたいな感じで、僕も今、目の前の人を徹底的に輝かせるための神が降りてきてるような感じですかね。だからもう、自分の中では、このエネルギーが自動的に出てくるんですよ。

だからこれをご覧になっている方が、いかにパワフルに、自由に生きて、輝いてもらえるかっていうことが、次から次へとアイデアが出てくるんですね。

これが、やっぱりオンリーワン性が出てくる強みなんですよ。だからこれっていうのを、他の方のをインプットして出てきてるわけじゃないんですよ。どこからかやってきている、かつ、自分の経験したことと、クライアントが成功したことが全部ミックスして、最高の形になってこうやって出てくるわけですよ。

ですからそういう意味では、コンテンツの質もよくなりますし、生まれてくる商品の質もいいですよ。これもコンテンツってのもセミナー業とか、それこそ作家さんになっちゃうんで、だけどこれがもし経営者で、物を作ってるんだったら、ものづくりの質が変わると思うんですよ。で、かつ、だいたいこうやると腹に落ちてくるんですね。要するに、自分の魂って呼ぶんですけど、スピリットとか、自分の人生、生き様とか、将来的に私はこうなるために生きてるんですけどっていうのであれば、地球上を波のエンターテイメントでいっぱいにして、セミナーもビジネスも、教育もね、すべてエンターテイメントであえて喜びを分かち合っていくっていうのが生き様なんだっていう。だからこれのために生きてるんだっていうのがわかると、ブレないんですよ。

その視点で考えたら、自分だったらアーティストになんなくちゃいけない。経営する時もアーティストにならんなくちゃいけない。っていう視点が常にあるから、ブレないんですよ。だからモチベーションは、こういうふうにやればいいんだみたいな。

でもそれに対して批判されようが構わなく突き進めるんですよ。同業者がやってようがやってなかるうが関係ない。だからセルフイメージも別に下がる必要がなくなるんです。っていうふうに、エネルギーがどんどん出てきますよね。だから、そうなるとうそういう風になってくっていうのはでかいですよ。

だから人生がブレなくなるっていうところまでいけますね。そういう意味で。

一條：

ビジネスの話ってあったけど、人生的にも。

渋谷：

そうなんですよ。

一條：

っていうことは、どうですか。今悩んでらっしゃるテーマってね、ビジネス系の話もあるし、人間関係の悩みとかもあると思いますが、恋愛とかでも親子関係でも何でもいいですが、その辺はどうですか？

渋谷：

そう。もう全部一緒ですよ。だから人間関係なんかすっごい普遍的ですよ。

僕だったら例えば教育をエンターテイメントする、ビジネスをエンターテイメントする。だから愛と喜びっていうのはキーワードで自分を出してるんですよ。

それに対して、賛同する人もいれば、嫌う人もいるわけですよ。で、嫌う人は私の人生の中では関係のない人なんですよ。それをわからしてくれる存在だってことにも、自分のスピリットがちゃんとしっかりしているのがわかってるんで、そしたら、喜んでバイバイってなるんです。

でも、ここでそれがなくなるとどうなるかっていうと、例えば部下がやめていっちゃうっていうと、もうショックなんです。え、俺は至らない点なかったのかな。」とか。受講者が減っていくと、「俺の至らない点があったのか。」って話なんです。

ああ、違うんだ、今卒業のタイミングなんだねって。次から、たぶん違う人がやってくるんだね。何故か私の人生は、こういう人生のこれに合った人が、もっとより多くの人が集まってくるもんねってわかってれば、そこに向かって突き進めるわけですよ。だから人間関係でも悩みってのはなくなってきましたね。

「あ、ごめんなさい、これは自分の人生、生き様にはいらぬものはこれだ。」

っていうのを知らせてくれてる人間関係だから、僕はこれを『いっかい』って呼ぶんですけど、これは今年手放せてことだな。じゃあそれに翻って、もっと私が人間関係の上で付き合って、輝かせるべき相手は誰かなってというのが、

反転したらわかるわけじゃないですか。こういう人じゃないってことは、作家さんの人ってこういう人だな。そうするとブレなくなるんですよ。

こういう人に向けて、自分の人生の生き様を見せた結果、社会はこんな風によくなるっていう、方程式ができるんですよ。筋が1本立つんですよ。そうすると、もう魂から、心の底から何をやるかが見えてくる。そういう風に、なるんですよ。

僕も、くどいようですけど、最初からできたわけじゃないです。でも、今言った一連の流れをやったらそうなっちゃったんですよ。で、僕のクライアントさんでも、そうなってくるんです。だから、誰でもできることだって思ってもらいたいですね。

で、それは、その視点があると、恋愛っていうのは面白いものになってきますね。執着なくなるからストーカーみたいなことをしなくなります。だって、自分に対して芯があって自信があるから、自分を見せてれば、相手に好かれるってことがわかってるんで。

一條：

もしくは好かれなくても、それは...

渋谷：

相性が違ったんだなって。じゃあって、基本的にね、自分らしく生きるとモテます。年齢関係ないです。80歳になってる人でもモテます。若い人よりモテますから。だから異性からモテたかったら、僕からすれば、小手先のテクニック学んだったら、スピリットをちゃんと、自分のオンリーワンはどこで、自分のエネルギーはどこで、どこの才能があって、それを、その才能を使うと、水を得た魚みたいにこうやって輝くんですよ、必ず。それを見てたらね、ファンになるんですよ。で、異性も「こういう人と付き合いたい」ってやっぱなるんです。

一條：

まあそうですよね、エネルギーあるからね。

渋谷：

そうなんです。で、それっていうのが合わないのは相性が合わないだけなんです。っていうふうに気軽に考える自信があるんだよね。だからやっぱね、結果的にモテるんです。

一條：

実際に、そういう生き方と言うんですかね、これはね。そういうことをして、行ける余地があって、そのための方法っていうのは、まずモチベーションだったらモチベーション辞典を作るとか、そういう方向ありますよという話になりますしね。

渋谷：

そうですね。で、モチベーションコントロールしながらセルフイメージもあげて、そして自分って何なんだろうって、さっきのモチベーション辞典も、自分としてのモチベーションは何？っていうふうにもう変わってるから、段々こうやって自分とは何者かっていうのを無意識に考えるようになるんですね。

一條：

なるほどね。実際に、今回ね、3回に渡ってこうやってお話をさせていただけるわけですけど、結局、なんですか、自分の目標とか達成したいのであれば、自分の...何でしょうね、セルフイメージがどうなのかを知るっていうのも、もちろんそうなんですけど、自分の適性というか、自分のやり方...

渋谷：

そうですそうです。自分流は絶対あります。

一條：

自分流がね。この2つを常に意識して、何か物事に取り組んで行きましょう。旅行行くにもそうだし、誰かと会うときにもそうだしと。まずは自分の心の中で、ちょっと動くものに敏感になれって話...

渋谷：

そうですね。だから、ちょっとでも心動いた物は全部メモっておくとかでもいいんじゃないですかね。

とにかく、どれが1番自分らしいのか。それってたまに見えないこともあるので、周りの意見でもいいですね。「あなた、これやってる時はすごい目輝いてるね。」とか。何か、お酒飲んだら、上がる人いるじゃないですか。シラフなんだけど、あの話すると急にどうするよねとか、そういう話、あるいは目、輝くよねとか、目は嘘つかないですからね。そういう時は目、輝いてますから。

だから声が強くなるとか、あるいはしゃべりが次から次へとトーンが高くなっ

て、明るくなって、もうにじみ出てくるものがあるっていうのは、周りの人がわかるんで、「あなた、この話の時いつも楽しそうだね。」とか、「こういうことやってる時はいつもウキウキしてるよね。」っていう、そういうのを聞いた方がいいですね。

一條：
聞いてみると。

渋谷：
自分で気づけないところだから。

一條：
それはいいですよ。まあ要するに周りの人すべてがコンサルタントになるようなもんですよ。

渋谷：
そうなんです。そうそうそうそう。それも1人じゃ駄目です。

例えば妻だけとか夫だけってやると、その人の目線になっちゃうから、その人の、あげるときりないから、それが同僚でも、あらゆる人、絶対やってはいけないことは、アドバイスもらう時にネガティブな事言う人は、最初は外した方がいいです。セルフイメージがどんどん下がっちゃうんで。だからいいことだけしか言ってもらわないようにした方がいいです、最初は。

一條：
まあだから、何の話をしている時は僕が目輝いている？とか、私の目輝いているとか...

渋谷：
そうそうそう。どんな時に輝いている？とか。「毎日、あんた輝いているわけじゃないでしょ。」とか言われるとセルフイメージ下がるじゃないですか。だからそういう人に聞かないほうがいいです。

一條：
なるほどね。まあそこは、そこを真に受けずに次に進むと。次の人に聞いてみると。

渋谷：

そう。それは自分の問題じゃなくて、その人が恐れを持ってただけなんでね。恐れを持ってから、人を下げないと...だって、輝かれたらどうですか？批判している人は、「え、置いて行かれちゃうんじゃないの？」って思うと、「何言ってるの、あんた無理よ。」ってなるじゃないですか。

一條：

そうですね。まあ同じ所にね。

渋谷：

そうですそうです。

一條：

まあでも、そう考えると、もう本当にあれですよ。まあ、ね、先生もそうだし僕もそうだと思うんですけど、能力が足りないっていう相談をされた時、ものすごい困ると。全然関係がない。

渋谷：

能力関係ない。僕からすれば、今日本語しゃべてるでしょ。能力だよこれって。箸持てるでしょ？箸で食べて日本語しゃべれてるだけで十分。だってニカアグラ人しゃべれないですからね。しゃべれないですよ。もうそれだけでも能力、才能あるんですよ。自転車乗れるんだったら、それだけで才能じゃないですか。電話かけれるのもそれ才能なんですよ。

だから、何か能力っていうと、あまりにもハードル高く、人の能力をすごく見ちゃってるから、しすぎなんですよ。そうじゃないんですよ。実力なんて言うのは後からつけることできるんです。で、適正っていうのは自分を知ってればわかるんです。あとは努力とセンスの掛け算で、自分の適性知って繰り返しやれば、もうガクンって上がるんですね。で、目、輝くんで。そしたらファンもついてくるし、そしたら恋愛だって、ビジネスだって、必ずうまくいくんですよ。そして自分の自信っていうものに繋がるんで、人生が楽しくなってくるんですよ。

一條：

なるほどね。人生の質全体が高まっていく。

渋谷：

そう、で、最終的にそれが社会貢献になるんですよ。あなたは輝いて、実際にあなたらしく輝いたのを見たら、やっぱりそれで影響を受けて、上る人もいる

わけですよ。

要するに輝いて才能が出てくるんです、必ず。もうにじみ出てくるんです、こうやって。さっきみたいに、何々が降りて来るんです。そういう才能必ずありますんで、その才能をやってれば、必ずしっかりよくなりますから。

一條：

なるほどね。ということは、もう今まで、例えば目標を達成できないとか、問題解決したら次の問題が出てくる、これは何なんだろうって思ってる人は、だいたい多くの人だね、それは自分の能力とか、まあ能力ですよ。の、なさだと思ってるけど、この動画をせっかく見ていただいた皆さん、そんなことは関係ない。

渋谷：

関係ないですよ。だって、それ、今のやり方じゃ駄目だから、自分流のやり方を探そうでもいいんですよ。

一條：

で、まず能力とは関係ないことを理解、是非いただいて、はじめの一步として、例えば自分ならではのモチベーション辞典を作るとか、もっと簡単に言うとその辺の周りに、自分が輝いている時に、聞いてみる。

渋谷：

そう、だから超輝いている時とか言うとわからなくなっちゃうから、ちょっとでもいいですよ。ちょっとでも声が大きくなるとか、いつもその時のほうがニコニコしてる、こっちの方がって2択にしてもいいです。最初に言うとかだったら。

〇〇してる時とかあるでしょ、だとどっち？とか。どっちのほうがニコニコしてるでもいいし、どっちのほうが目が輝いているとか、どっちの方がしゃべって楽しそうにしてるとか、そういう楽しそうにしてるリストを作ってもいいですね。人から聞く時ね。

一條：

なるほどなるほど。

で、もうちょっと先行きたい人は、まあ余裕がある人でもいいんですけど、自分のネガティブ経験とか、その辺を書き出してみると。っていうことですよ

ね。

ネガティブ経験、得意なこと...で、何でしたっけ。得意なこと...

渋谷：

ネガティブ経験、ポジティブ経験、得意なこと、好きなこと、勝てることですね。

一條：

なるほどね。

まあこれを、それぞれ別のノートでもいいし、書いてみると。

渋谷：

そうですね。もう片っ端から書きだした方がいいです。2,3個とかじゃ駄目ですね。50個100個ぐらい書き出す、やったほうがいいですね。

一條：

で、もしそれが、ちょっとハードル高いなと思う時は、まだ...

渋谷：

これ何かブレーキあるかもしれないなと思って、自由な自分を感じるための辞典に行くっていう。

一條：

で、それもわからなかったら、周りに聞いてみる。

渋谷：

そう。いいですね。

一條：

どこでもできる所に常備しながら、その時できるところで、自分の適性を知りながら、自分のセルフイメージについても、確認をしていくという機会に、役に立ったらいいなと思いますよね。

渋谷：

そうですね。

だから必ず才能ありますんでね。セルフイメージあげれば絶対ブレイクしま

す。で、ブレイクした先の世界っていうのは、あなたにしかない、経験的な素晴らしい世界なので、そこだけは是非忘れないでおいて欲しいですね。

能力低いとかじゃなくって、そこに行けば能力、自分高い自分が必ずいますんで。

一條：

能力関係ないと。これは本当に強調しておくべき...

渋谷：

それをビジネスに活かしたい人は、そこが1番の金脈ですからね。自分の、自分っていうのが1番の資源ですから、やっぱり。いろんな投資あるじゃないですか。いろんな投資あるけども、やっぱり自分っていう投資が、やっぱり究極なんですよ。それを自己投資っていうのはタダのマーケティングだけじゃなくて、自分っていう才能を1番活かした時が、1番お金が神様からもらえるぐらい、ギフトとしてもらえるぐらいの素晴らしいものがありますんで。

一條：

なるほどね。そうですね。

だから自分の適性っていうのをちゃんと知って、その上で、いろんなノウハウも使っていきましょう。そうすると、ますますあなたは輝いていきますよっていうことですね。

渋谷：

そうですね、はい。

一條：

いや一わかりました、ありがとうございます。

まあ、実際に結果が出せる人、出せない人ってところから始まった内容なんですけど、自分の土俵を見つけていくとか、その話につながっていったわけですよ。で、最終的にどうもこの2つが、大事なんじゃないかとか、自分の適性を知ることと、セルフイメージ、自分のセルフイメージを上げていくにこしたことはないですもんね。

渋谷：

そうですね。これは僕が1万人見てて、ほぼ全員に当てはまったことですから

ね。

一條：

なるほどね。

で、確かになって思った方がいらっしゃったら、是非この動画の中で、様々なお話をさせていただきましたので、その内容でできるところから...

渋谷：

そうですね。やってもらいたいですね。

まあ、やってみただけどちょっとここわかんないってこと、あるかもしれないんで、どうですかね、何か質問を受け付けるとかね。

一條：

ああ、いいんですか？

渋谷：

いいかもしれないですね。ちょっと全部を答えれるかわからないですけど、何かこういうところでやってみただけど上手くいかないっていうのがあれば、ちょっと質問はね、できるだけお答えしたいと思いますけどね。

一條：

なるほどね。じゃあそのメールなんなりで送ってくださいという話ですね。

渋谷：

そうですね。

一條：

わかりました。それでは是非、この動画を見て、自分の内なる才能に気づいていただいて、ますます輝いていただきたいと。

渋谷：

そうですね。

一條：

わかりました。ありがとうございます。

じゃあ、今回の対談はこれで一応終了ということで、皆さんのお役に立てば嬉

しいなと思っております。先生ありがとうございました。

渋谷：

ありがとうございました。